

VIEWTEC

ナイスビューモニター

VH-S20

モニター型式：VH-M20

カメラ型式：VH-C20W

VH-C30W

VH-SC20W

VH-SC30W

取扱説明書

目次

ご使用になる前に.....	2	3. 車両への取り付け	8
1. 製品構成.....	5	4. モニターの操作	18
2. 接続.....	6	保証書.....	裏表紙

このたびは、日本ビューテックナイスビューモニターをお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

本機の性能を十分に発揮させ効果的にご利用いただくために

取り付け前に、この「取扱説明書」をよくお読みになり、安全に正しく取り付けてください。

この「取扱説明書」の記載内容、外観(モニター含む)および仕様は予告なく変更される場合がございます。

保証書(裏表紙をご覧ください)は、お買い上げの販売店で記入いたします。
内容をよくご確認の上、この「取扱説明書」と一緒に大切に保管してください。

ご使用になる前に

安全上のご注意



ご使用になる前に、この「安全上のご注意」を必ずお読みください。

絵表示について





この取扱説明書および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するためにいろいろな絵表示を使用しています。






その表示と意味は、次のようになっています。

取扱説明書をお読みになり内容をよくご理解のうえ正しくお使いください。

 警告	この表示を無視して誤った取り付けや操作をすると死亡または重症を負う可能性が想定される内容を示しています。
 注意	この表示を無視して誤った取り付けや操作をすると、障害を負ったり、物的損害が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例

	行為を強制したり指示する内容を告げるものです。
	一般的な禁止行為を告げるものです。
	分解の禁止を告げるものです。
	警告・注意を告げるものです。

 警告	
	本機を運転や視界の妨げになる位置には取り付けない。 エアバッグなど安全装置の妨げになる位置やシフトレバー、ブレーキペダル付近など運転に支障をきたす位置への取り付けは、事故の原因となります。
	取り付けには車の保安部品のボルトやナットを絶対に兼用しない。 ステアリングやブレーキなど保安部品のボルトやナットを使用して取り付けると制動不良・事故・発火の原因となります。
	故障や異常な状態のまま使用しない。 煙が出る、変な匂いがするなどの異常な状態で使用すると発火などの原因となります。ただちに使用を中止してお買い上げの販売店にご相談ください。
	電源リード線の被覆を剥いて他の機器の電源を接続しない。 リード線の電流容量がオーバーして火災や感電の原因となります。



警告(つづき)

	<p>本機を分解・改造しない。 事故や火災、感電の原因となります。</p>
	<p>正しく配線する。 正しく配線しないと発火や事故の原因となります。特にリード線などがねじやシートレールなどの可動部にかみ込まないように配線してください。またステアリング、ブレーキペダルなどに巻き付かないよう固定してください。</p>
	<p>配線作業中は、バッテリーのマイナス側ケーブルを外す。 ショートによる感電や怪我の原因となります。</p>
	<p>車体に穴を開けて取り付ける場合は、パイプ類、タンク、電気配線などの位置を確認のうえ、これらと干渉や接触することがないように注意する。 パイプ類などの破損により火災や故障などの原因となります。</p>
	<p>接続ケーブル類の配線は、高熱部を避ける。 排気管やエンジンの付近に配線すると高熱のためケーブル被覆が溶けてショートや断線の危険があり、発火や故障の原因となります。</p>
	<p>本機の取り付けや取り付けの変更は、安全のため必ずお買い上げの販売店または最寄りの弊社代理店に依頼する。 専門技術と経験が必要です。</p>
	<p>カメラは車幅以内に取り付ける。 カメラは、車幅からはみ出さない場所、および車の前後からはみ出さない場所を選んで取り付けください。歩行者などに接触して事故の原因となります。</p>
	<p>電源コードやその他コードは、運転の障害とならないように配線する。 ・ブレーキやアクセルなど可動部分の近くに配線しないでください。 ・配線が手や足にさわらないように注意してください。</p>
	<p>運転中は、本機を操作しない。 必ず安全な場所に車を停車させてから操作してください。交通事故の原因となります。</p>
	<p>モニター画面だけを見ながらバックしない。 カメラには、死角(映らない部分)があり事故の原因となります。</p>
	<p>運転中はモニターをさわらない。 不用意にさわると多少の温度差でも大変熱く感じる場合があります。</p>
	<p>画面が正常に映されていないと感じたらスピードを落とし、画面を凝視しない。 ・すみやかに安全な場所に車を止めて、カメラやコードが外れたりしていないか確認してください。 ・強い光がカメラに写るとモニター画面の上下に大きく縦縞が表示されることがありますが、故障ではありません。光が画面の外に移動すると表示されなくなります。 ・違法無線など強い電波を発する車の近くや強い電磁波を発生している施設の近くでは画像が乱れることがあります。故障ではありません。</p>
	<p>ヒューズを交換するときは、必ず規定容量(5A)のヒューズを使用する。 規定容量以上のヒューズを使用すると火災の原因となります。</p>
	<p>運転の前にモニターの取り付け位置を確認する。 モニターなどが取り付けられていることの認識が浅い方が車をご利用になるときは、うっかり手や頭などをぶつけて安全運転に支障をきたすことがあります。ご注意ください。</p>
	<p>雷がなりだしたら本機および配線に触れない。 感電の原因となります。</p>



注意

	<p>コード(カメラ接続用ハーネス、電源ケーブルなど)をはさみ込んだり引っ張ったりしない。 ショートや断線により、発火や故障の原因となることがあります。</p>
	<p>本機を落下させたり、衝撃を加えたりしない。 衝撃を加えると故障や火災発生の原因となることがあります。</p>
	<p>車体のねじ(保安部品取り付け用のボルト、スクリュー以外のねじ)を使用して取り付ける。 ねじがゆるまないように確実に締め付けてください。 ねじがゆるむと事故や故障などの原因となることがあります。</p>
	<p>エンジン停止時はモニターの電源を切る。 バッテリーが上がり、エンジンがかからなくなることがあります。</p>
	<p>必ず付属の部品を指定通りに使用する。 指定以外の部品を使用すると機器内部の部品を傷めたり、確実に固定できずに外れたりして事故や故障などの原因となることがあります。</p>
	<p>接続終了後は、ケーブル類をクランプや絶縁テープなどで固定する。 ケーブル類がゆるむと車体部分との接触によりケーブル類の外被がすりきれてショートし、故障や火災の原因となることがあります。</p>
	<p>車体に穴を開けてケーブル類を配線するときは、絶縁性の保護チューブまたはグロメットなどを使用する。 開口部との接触により外被がすりきれてショートし、故障や火災の原因となることがあります。</p>
	<p>車体に穴を開けて機器の取り付けあるいはケーブル類の配線をするときは、開けた穴との隙間をシリコン接着剤などで充填する。 排気ガスやほこり・水などが隙間から室内に侵入し、事故などの原因となることがあります。</p>
	<p>モニターの角度調整は、モニターブラケットの角度調整ねじを回してゆるめてから行う。 無理にモニターの角度を調整するとモニターやモニターブラケットが破損する可能性があります。</p>
	<p>モニターブラケット(安全機構付き)に必要以上の衝撃や負荷を掛けない。 安全のため、必要以上の衝撃や負荷が掛かるとネジ固定部が外れるようになっています。ネジ固定部が外れた場合は、元の状態に戻すことができなくなります。</p>
	<p>モニターブラケット(安全機構付き)は定期的に点検する。 ネジ固定部にガタツキや緩みが生じていないか定期的に点検してください。</p>
	<p>電源は「ACC」連動電源に接続する。 電源フィルターの回路にコンデンサーが使用されており、「ACC」OFF後このコンデンサーから短時間電源が供給されますので「ACC」連動電源に接続された電装機器がOFFするまで多少遅延することがあります。 ※遅延時間は接続された電装機器の消費電力で異なります。 例えば、純正ラジオのみを接続されているときは2秒程度遅れてラジオの電源が切れます。</p>

1. 製品構成

標準キット

万一、不足しているものがありましたら、お買い求めの販売店にお問い合わせください。

部品名称・型式	個数
7型カラーモニター VH-M20	1
カラーCCDカメラ(広角) VH-C20W	1
カメラ用日除けカバー	1
カメラ用取り付け金具	1
カメラ用取り付け金具取り付けボルト (M5×20mm)	2
カメラ用取り付け金具取り付けナット (M5)	2
カメラ取り付け用ボルト (M4×8mm)	4
モニター用グロメット	1
カメラ用グロメット	1
自己融着テープ	2
コネクターカバー	1
カメラ接続用ハーネス(単車用 10、15、20、23mより選択)	1
電源ケーブル	1
モニターブラケット(車種により設定あり)	1
取扱説明書	1
保証書(裏表紙に記載)	1

・仕様を指定・変更してお買い上げいただいた場合には、上記キットとは構成内容が異なりますのでご注意ください。

オプションパーツ

あらかじめ、仕様を指定してお買い上げいただいた場合には、下記の部品などが追加されています。
ご不明な点がありましたらお買い求めの販売店にお問い合わせください。

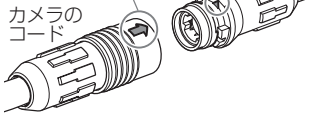
・カメラ カラーCCDカメラ(広角;トレーラー用) VH-C30W シャッター付きカメラ(広角) VH-SC20W シャッター付きカメラ(広角;トレーラー用) VH-SC30W
・カメラ接続用ハーネス 単車用防水ワイヤーハーネス 10.0m 15.0m 20.0m 23.0m 単車用防水延長ワイヤーハーネス 5.0m トラクター用防水カバー付ワイヤーハーネス 15.0m トレーラー用防水カバー付ワイヤーハーネス 5.0m 20.0m
・カメラプロテクター (広角カメラ用)
・モニター取り付け金具 各種取り揃えてあります
・グロメット (モニターケーブル貫通穴用)
・カメラ取り付け金具 車両形状に合わせた取り付け金具をご用意しております。 お気軽に販売店までお問い合わせください。
・拡張用パーツ VH-H20 コントロール BOX 増設用カメラ変換ケーブル

2. 接続

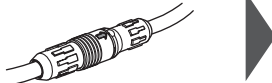
結線図

トラクター・トレーラー以外の場合

①矢印と△印の位置を合わせる

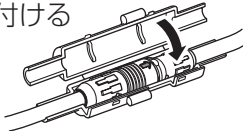


②押し込む

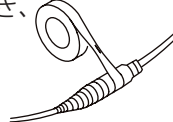


嵌合部は引っ張り、屈曲など30N以上の荷重を加えないでください。過度な荷重が加わるとコネクタ破損の原因となります。

③コネクタカバーを取り付ける



④自己融着テープで伸ばすように巻き、固定する



(注1) カメラ背面のカメラケーブルを30N以上の荷重で引っ張らないでください。

カラーCCDカメラ(広角)
VH-C20Wの場合



(注1)

カメラ接続用ハーネス

電源ケーブル

赤ジャック
(6ピン)

ヒューズ(5A)

電源マイナス(-)(黒色)

電源プラス(+)(赤色)

電源
フィルター

7Vカラーモニター
VH-M20

黒ジャック
(8ピン)

トラクター・トレーラーの場合

カラーCCDカメラ(広角)
VH-C30W

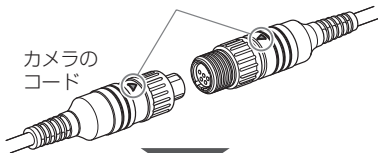


(注1)

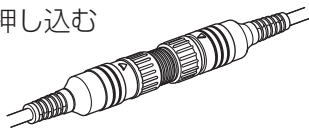
トレーラー
ケーブル

トレーラー用
変換ケーブル

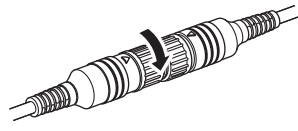
①△印の位置を合わせる



②押し込む



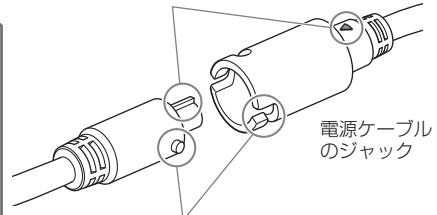
③回して固定する



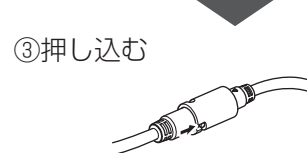
④自己融着テープで伸ばすように巻き、固定する



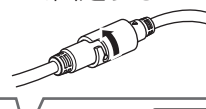
①突起と△印の位置を合わせる



②ストッパーとくぼみの位置を合わせる



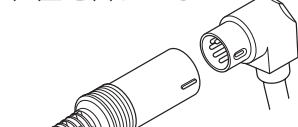
④ひねって固定する



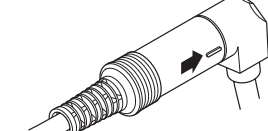
赤ジャック
(6ピン)

電源ケーブル

①ストッパーとくぼみの位置を合わせる



②押し込む



黒ジャック
(8ピン)

7Vカラーモニター
VH-M20

電源プラス(+)(赤色)

ヒューズ(5A)

電源マイナス(-)(黒色)

マーカースignal(緑色)

注意事項

- ・ 接続するときは、ピンを折ったり、曲げたりしないようにご注意ください。
- ・ 電源ケーブルは次のように配線してください。(電源は、12V/24V共用です)

赤色ハーネス	電源プラス(+)用 ・ 車のキーを「LOCK」か「OFF」にすると電源供給が切れ、「ACC」にすると電源が入ります。 電源ラインで「1A」以上の電源が取れる所に接続してください。
黒色ハーネス	電源マイナス(-)用 ・ 車体の金属部分に確実にアースしてください。
緑色ハーネス	マーカー信号入力用 シフトレバーを後退に位置にしたときに連動して出力される電源プラス(+)ライン(バックランプ用電源ラインなど)に接続します。 後退信号ラインに電源プラス(+)信号が入力されるとモニター画面にマーカー線(19ページ参照)が表示されます。 後退時のリフトゲート降下位置などの目安になります。

ヒューズ

赤色ハーネスのヒューズが切れたときは、配線などを調べて必ず原因を確かめ、適切な処理をしてください。その後、切れたヒューズをヒューズケースに記してある規定容量(5A)のヒューズと交換してください。

- ・ 規定容量以上のヒューズや針金で代用することは大変危険ですのでおやめください。

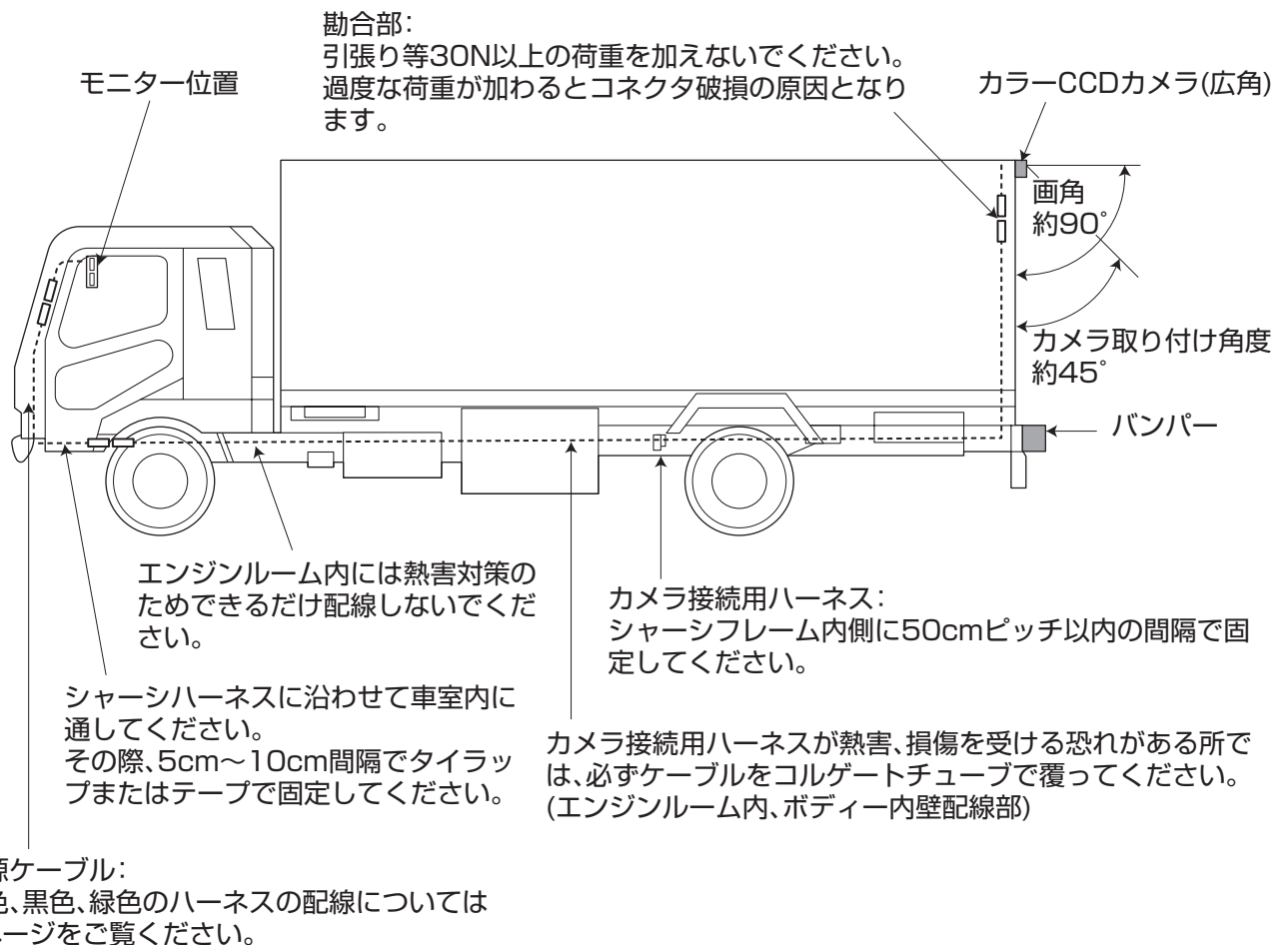
3. 車両への取り付け

本機取り付け・配線工事は専門技術と経験が必要です。
安全のため必ずお買い上げの販売店に依頼してください。

取り付けの要領

- ・モニターブラケットは、各種車両用をご用意しております。詳しくは販売店にお問い合わせください。
- ・カラーCCDカメラ(広角)を車両後部上端に取り付け(9ページをご覧ください)、カメラ接続用ハーネスと接続します。カメラ接続用ハーネスのもう一端を電源ケーブルの赤ジャックと接続します。
- ・ルームミラーを外してモニターを取り付け(12ページをご覧ください)、モニターのコードを電源ケーブルの黒ジャックと接続します。
- ・電源ケーブルのハーネスを車両の電源に接続します。(6ページをご覧ください)

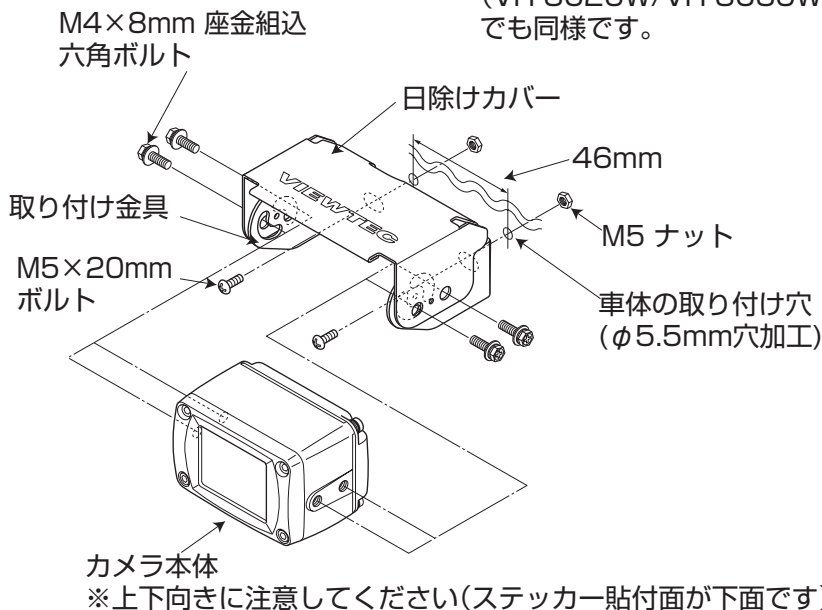
- ・モニターの取り付けにあたっては、車内の乗員がモニター本体に触れたり、ぶつかっても怪我をしないよう、また運転の妨げにならないように安全・確実にお取り付けください。
- ・モニターの近くにAMラジオのアンテナがあるとAMラジオにノイズが発生することがあります。
- ・モニター、モニター取り付け金具は車体に合わせ、適宜取り付けてください。
なお、モニター取り付け金具は一部車両には対応しておりません。詳しくは販売店にお問い合わせください。



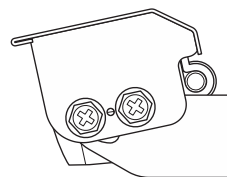
カラーCCDカメラの取り付け

カラーCCDカメラ(VH-C20W)の場合

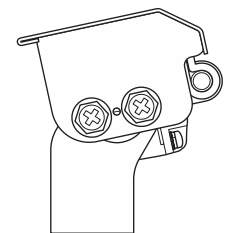
※シャッター付きカメラ
(VH-SC20W/VH-SC30W)
でも同様です。



垂直面取り付け例



水平面取り付け例



※その他オプションカメラについては、カメラ付属の取扱説明書をご参照ください。

カラーCCDカメラ取り付け角度の調整範囲(水平からの角度を示す)

水平取り付けの場合	垂直取り付けの場合
上方向5度～下方向90度 (45度を基準に)	上方向90度～下方向15度 (45度を基準に)

- ・取り付け角45度を基準にバンパーの後端が確認できる角度に調整してください。
- ・調整可能角度以外でのご使用を希望される場合は、販売店にご相談ください。

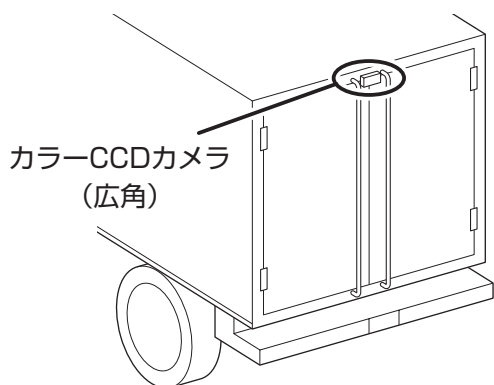


取り付け金具は必ず2本のボルトで確実に締め付ける。(1本締めは厳禁!!)

- ・高圧洗浄機によるカメラ本体の洗浄はお控えください。

カラーCCDカメラ(広角)の取り付け角度の調整について

- ・取り付け例

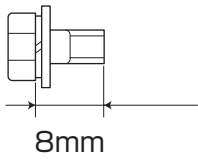


- ・カラーCCDカメラ(広角)の画角は上下約90度あります。カメラの取り付け角度を確実に調整してください。
- ・カメラを後方下向き約45度の角度で取り付けした後、取り付け角度を微調整します。バンパーの一部または車両後端がモニター画面に映るようにしてください。

- ・カメラの取り付け角度を下げ過ぎてバンパーまたは車両後端がモニター画面に入りすぎないようにご注意ください。後方視界範囲が狭くなり後方車両の確認が不十分となります。
- ・モニター画面に車体がまったく映っていない状態では、障害物との距離を判断することができなくなりますのでご注意ください。

カラーCCDカメラ取り付け時のご注意

- カメラ本体の取り付け用ボルトは、必ず付属のステンレス製M4×8mmボルト(平ワッシャーとスプリングワッシャー組み込み)を使用してください。取り付け時にボルトを紛失した場合も、必ずステンレス製M4×8mmボルトを使用してください。ねじ長さ8mm以上のボルトは絶対に使用しないでください。



防水性を確保するためにカメラケースのねじ穴部は袋構造になっています。長いボルトを無理に使用するとねじ山およびカメラケースが破損し、防水性が保てなくなります。

- カメラを取り付けるときにカメラ背面のカメラケーブルを30N以上の荷重で引っ張らないでください。
- カメラは揺れ防止のため強度の確保できる位置に取り付けてください。また、取り付け強度がとれない場合は、適切な補強を施してください。

「とい」などの張り出し部に取り付けをするときは(板厚が薄いなど取り付け部強度がない場合)、必ず補強金具などで取り付け部の強度を確保してください。

- カメラ本体のボルトやねじをゆるめたり、分解しないでください。防水性能の低下・劣化により故障発生の原因となります。
- リヤバンパーやステップ部など低い位置への取り付けは死角が発生しやすいので十分注意してください。

カメラのレンズ部が泥はね、排気ガスなどの汚れを受けやすい位置への取り付けは避けてください。

- カメラ取り付け金具を取り付けた後、ねじ穴、ねじおよびケーブル通し穴は、必ずシーラントなどを充填し、防水処理をしてください。
- カメラ本体をケーブルで吊り下げたり、ケーブルを引っ張らないでください。防水性能が低下したり、ケーブルが断線するなど、故障の原因となります。
- 本機およびカメラ接続用ハーネスはアンテナなどから60cm以上離してご使用ください。本機およびカメラ接続用ハーネスの近くに無線機、無線機用アンテナ、ラジオ用アンテナなどがあるとモニターの画像または音声乱れる場合があります。

シャッター付きカメラ取り付け時のご注意

- シャッター付きカメラ設置時は、車両構造物にカメラカバーなどが接触しないようにして取付けをお願いします。
- カメラ周囲(上下、左右)は5mm以上離すことをお勧めします。

車両構造物がカメラに接触してカメラカバーなどに強いストレスがかかるとシャッターが正常に作動しなくなることがあり、故障の原因にもなります。

カラーCCDカメラ取り扱い時のご注意

- ・レンズはガラス製です。強い衝撃をあたえると割れて怪我の原因となることがあります。
- ・お手入れについては、以下の点にご注意ください。
 - レンズについた埃やゴミ、指紋などは柔らかい布で拭きとってください。汚れがひどいときは、水で薄めた中性洗剤を布に含ませて拭き取ってください。
 - ベンジン、アルコールなどは使用しないでください。
- ・異常な低温または高温になると映りが悪くなるがありますが、故障ではありません。常温に戻ると回復します。
- ・雨天時、水滴により映像が見にくい場合は、市販の撥水処理剤をガラス面に塗布してご使用ください。水滴、汚れなどが付着しにくくなります。
- ・取り付け作業完了後、システムの作動を十分に確認してからご使用ください。
- ・シャッターカメラの開閉部(開閉動作中含む)に衝撃や負荷を掛けないでください。故障の原因となります。
- ・シャッターカメラの開閉部を手で動かしたり、無理に開閉させたりした場合は、シャッターが完全に閉まりきらない等の状況になることがあります。
その場合は、何度かモニターの**BACK SETスイッチ**のONとOFFを繰り返してください。元の状態に戻ります。
- ・シャッターカメラに氷や雪が付着している場合は、無理に動かさず、溶けた後にご使用ください。

カラーCCDカメラ接続時のご注意

- ・カメラ接続用ハーネスは傷つかないように車室内を通してください。やむをえず車外に配線する場合は、木の枝などに引っ掛けたり、ケーブルがばたつくのを防止するため、クランプなどで確実に車体に固定し板金カバーで保護してください。また、コネクター部は確実に接続し、水のかかりにくいところに設置してください。
- ・各ケーブルの配線は、エンジン・排気管・トランスミッションなどの高温部、クーリングファン、オルタネーターなどの回転部および雑音発生源からできるだけ離してコルゲートチューブで被覆し、クランプなどで固定してください。
- ・各ケーブルは、同軸線を内蔵した特殊ケーブルですので切断しないでください。
- ・焼付塗装する車両は、必ず塗装後に配線を行ってください。
- ・ケーブルが損傷を受けやすい通し穴の金属部や板金の切断面などには、保護チューブまたはグロメットなどでケーブルを保護してください。また、ケーブルに強いねじりや曲げを加えると内部ショートの原因となりますので無理な配線は避けてください。外被に傷がつくと防水性が損なわれますので十分に注意してください。

防水コネクターを接続するときのご注意

防水コネクターは樹脂製です。締め付けには十分に注意して確実に固定してください。コネクターが破損したり締め付けが不十分な場合は、防水性の低下により水が浸入します。

接続の際は、各コネクターの締め付け部を合わせ、プッシュロックの固定、もしくはナットの締め込みを確実に行ってください。また、付属の自己融着テープで固定を行ってください。

モニターの取り付け

ルームミラー、ルームランプを取り外してモニターブラケットを取り付け、モニターブラケットにモニターを取り付けます。ルームミラー、ルームランプの取り外しかた、モニターブラケットの取り付けかたは、車種によって異なります。

ルームミラー、ルームランプの取り外し

・三菱ふそう キャンター

ルームミラーを取り外す前に車両の内装を取りはずす

ルームミラー、室内灯、モニターケーブルの配策に関連する内張りなどの車両内装、助手席側のサイドピラーを取り外します。

・車両のグレードによって内装が異なりますので、ご注意ください。

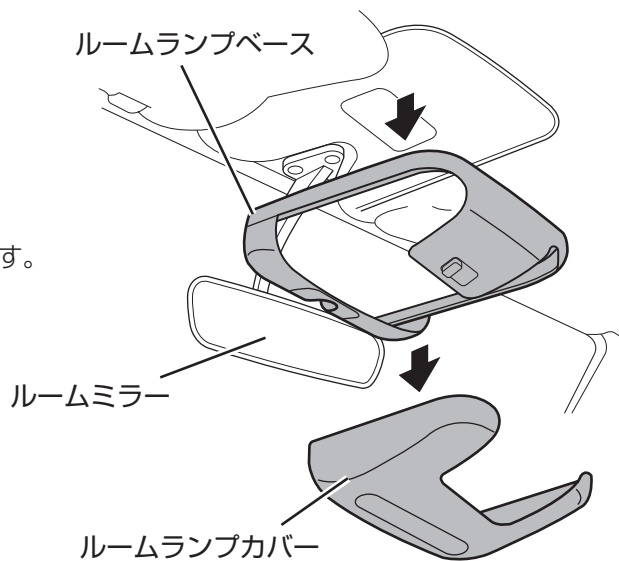
ルームランプ一体ミラー車の場合

1 ルームランプカバーを取り外す

ルームランプカバーのツメ(2カ所)を外します。

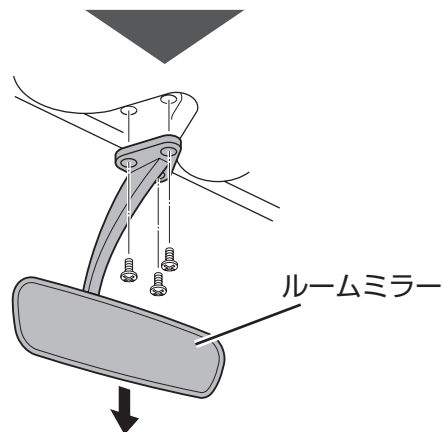
2 ルームランプベースを取り外す

ルームランプベースと、裏面のハーネスコネクタを外します。



3 ルームミラーを取り外す

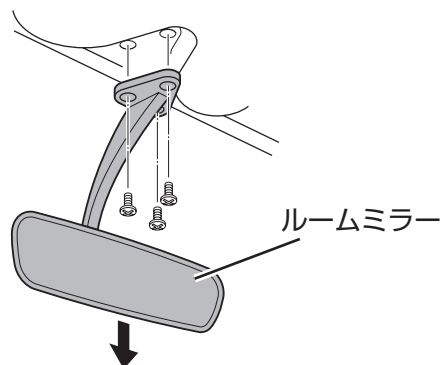
ネジ(3本)を外します。



ルームランプなし車の場合

1 ルームミラーを取り外す

ネジ(3本)を外します。



ルームミラーを取り外す前に車両の内装を取りはずす

ルームミラー、室内灯、モニターケーブルの配策に関連する内張りなどの車両内装、助手席側のサイドピラーを取り外します。

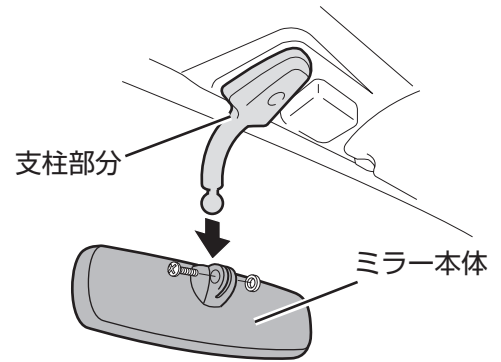
・車両のグレードによって内装が異なりますのでご注意ください。

1 ルームミラーを取りはずす

ミラー本体のみを外します。

- ・ミラーの接合部をマイナスドライバーなどで広げて取り外します。
- ・ルームミラーの支柱部分には、モニターホールドを取り付けます。モニターブラケットを取り付ける必要はありません。

例：日産 アトラス



ルームミラーを取り外す前に車両の内装を取りはずす

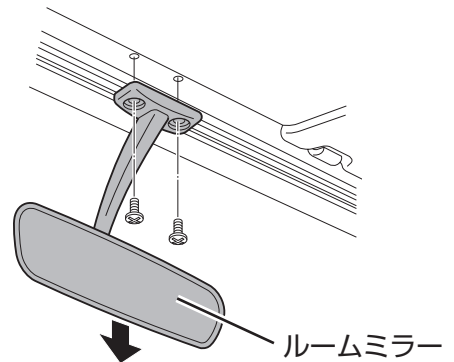
ルームミラー、室内灯、モニターケーブルの配策に関連する内張りなどの内装、助手席側のサイドピラーを取り外します。

・ルームミラーを装着していない車種もこの作業を行ってください。

・車両のグレードによって内装が異なりますのでご注意ください。

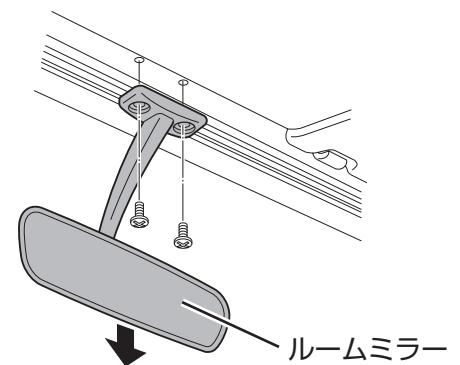
1 ルームミラーを取りはずす

ネジ(2本)を外します。



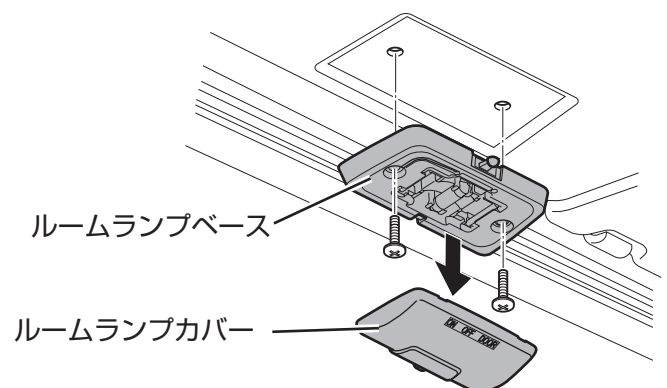
1 ルームミラーを取りはずす

ネジ(2本)を外します。



1 ルームランプカバーを取りはずす

2 ルームランプベースを取りはずす



モニターブラケットの取り付け

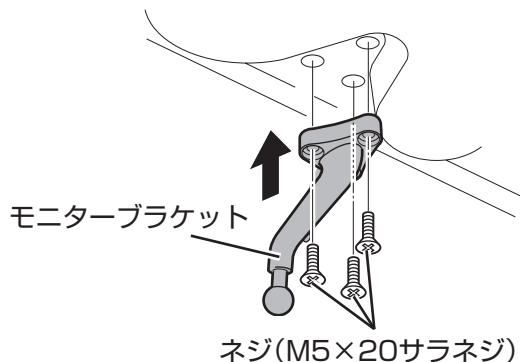
日産 アトラス、日野自動車 デュトロ、トヨタ ダイナ、トヨタ トヨエースの場合は、モニターブラケットを取り付ける必要はありません。

・三菱ふそう キャンター ・UDトラックス カゼット

1 モニターブラケットを取り付ける

モニターブラケットに添付されたネジ(M5×20サラネジ)を使い、モニターブラケットを取り外したルームミラーのネジ位置に合わせて固定します。

- ・ルームランプ一体ミラー車の場合は、モニターブラケットを取り付けた後、ルームランプベース、ルームランプカバーを取り付けます。



・三菱ふそう ファイター

1 ブラケットA取り付け用のネジ穴を開ける

取り外したルームミラーの位置にブラケットAを仮止めし、補強用のネジ穴(φ6)を開けます。

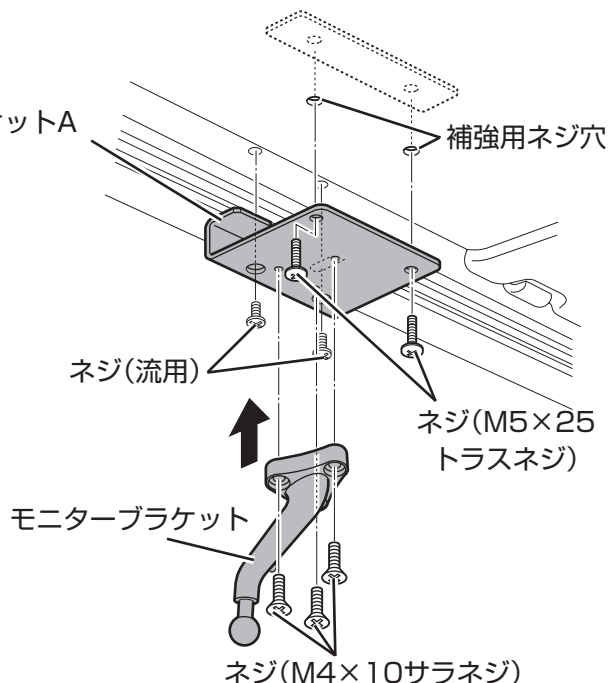
2 ブラケットAを取り付ける

取り外したルームミラーのネジの位置にルームミラー用のネジ(流用)とブラケットAに添付のネジ(M5×25トラスネジ)を使って固定します。

- ・ブラケットAの添付ネジ(M5×25トラスネジ)は、添付されたM5フランジ付ナットで固定します。

3 モニターブラケットを取り付ける

モニターブラケットに添付されたネジ(M4×10サラネジ)を使い、モニターブラケットをブラケットAに固定します。

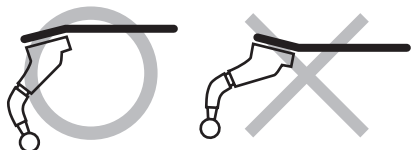


・いすゞ エルフ(一部型式をのぞく) ・UDトラックス コンドル<小型>(一部型式をのぞく)

1 ブラケットBを取り付ける

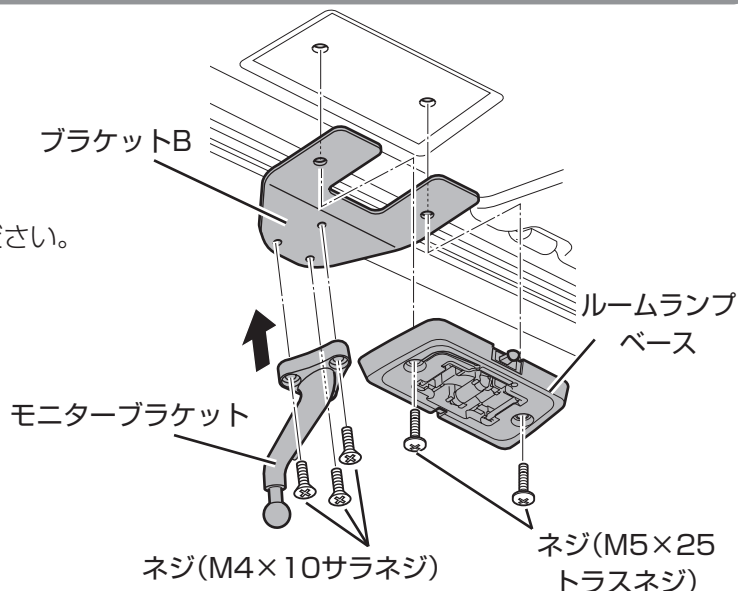
取り外したルームランプベースのネジの位置にブラケットBを図のように合わせ、ルームランプベースとブラケットBをブラケットBに添付されたネジ(M5×25トラスネジ)を使って固定します。

- ・ブラケットBの向きは、下図(左)のようにしてください。



2 モニターブラケットを取り付ける

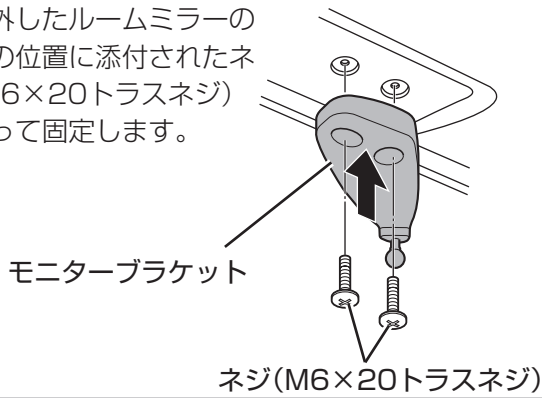
ブラケットBにモニターブラケットに添付されたネジ(M4×10サラネジ)を使って固定します。



・ いすゞ ギガ(旧)

1 モニターブラケットを取り付ける

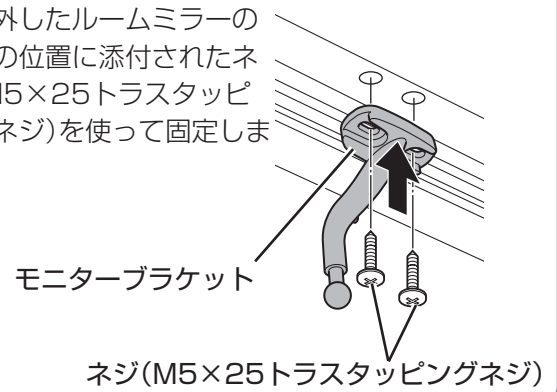
取り外したルームミラーのネジの位置に添付されたネジ(M6×20トラスネジ)を使って固定します。



・ UDトラックス クオン・コンドル(中型)

1 モニターブラケットを取り付ける

取り外したルームミラーのネジの位置に添付されたネジ(M5×25トラスタッピングネジ)を使って固定します。



・ 三菱ふそう スーパーグレート ・ 日野 レンジャー・プロフィア ・ 日産ディーゼル コンドル

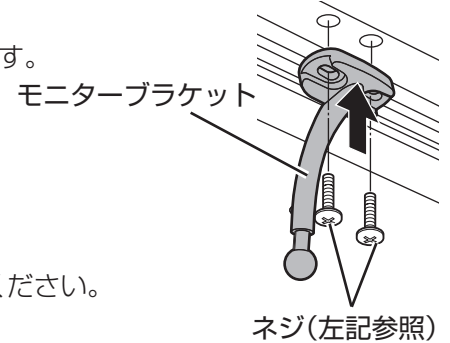
1 モニターブラケットを取り付ける

取り外したルームミラーのネジの位置に添付されたネジを使って固定します。

・ 車種によって使用するネジが異なります。

名称	個数	適用車種
M6×20トラスネジ	2	- 日野 レンジャー・プロフィア - 三菱ふそう スーパーグレート
M5×25トラスタッピング	2	- 日産ディーゼル コンドル

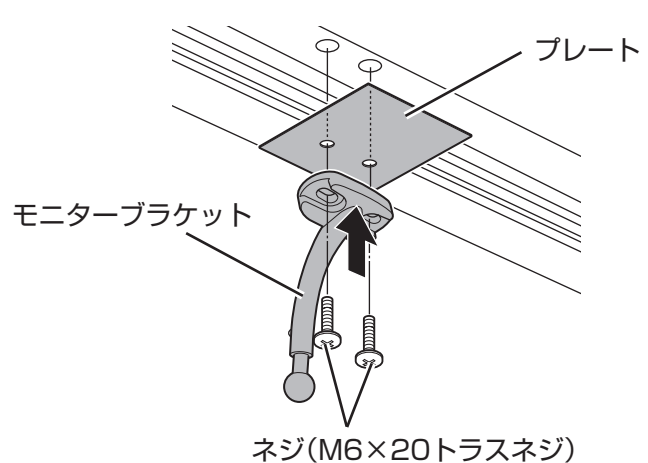
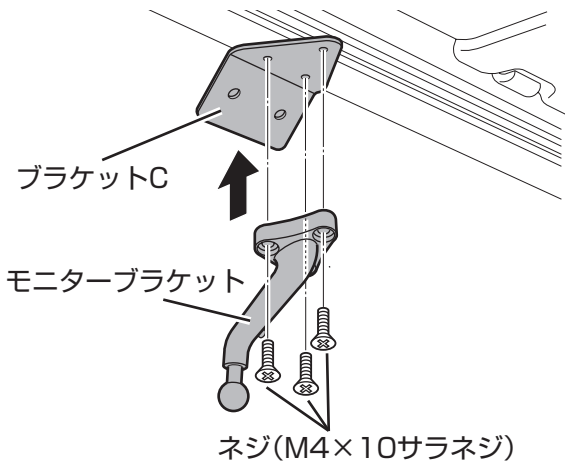
・ お客様の車種が上記に該当しない場合は、お買い求めの販売店にご相談ください。



・ いすゞ ギガ・フォワード・エルフ現行型2007年9月～(エルフ一部車種を除く)

1 モニターブラケットを取り付ける

ブラケットCは取り外したルームミラーのネジ位置に添付されたネジ(M6×20トラスネジ)で固定してから、モニターブラケットを添付されたネジ(M4×10サラネジ)で取り付けます。車種によりモニターブラケットでプレートを含み込んでから添付されたネジ(M6×20トラスネジ)を使って固定します。

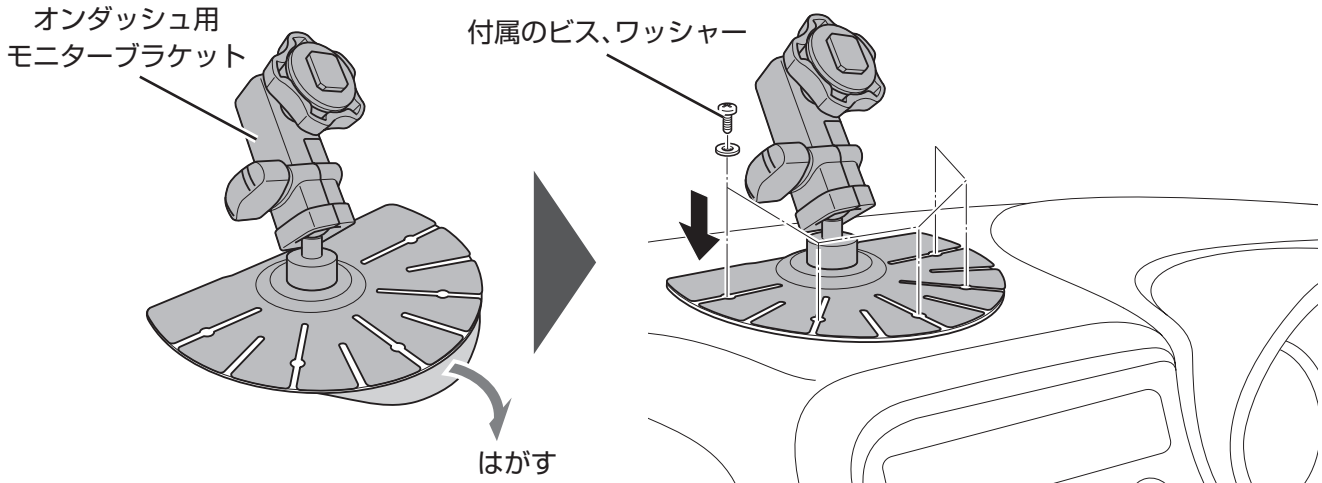


安全機構付きモニターブラケットをご使用の際のご注意

- ・ モニターの角度調整は、モニターブラケットの角度調整ねじを回してゆるめてから行ってください。無理にモニターの角度を調整するとモニターやモニターブラケットが破損する可能性があります。
- ・ モニターブラケット(安全機構付き)に必要以上の衝撃や負荷を掛けないでください。安全のため、必要以上の衝撃や負荷が掛かるとネジ固定部が外れるようになっています。ネジ固定部が外れた場合は、元の状態に戻すことができません。
- ・ モニターブラケット(安全機構付き)は定期的に点検してください。ネジ固定部にガタツキや緩みが生じていないか定期的に点検してください。

オンダッシュ用モニターブラケットの取り付け

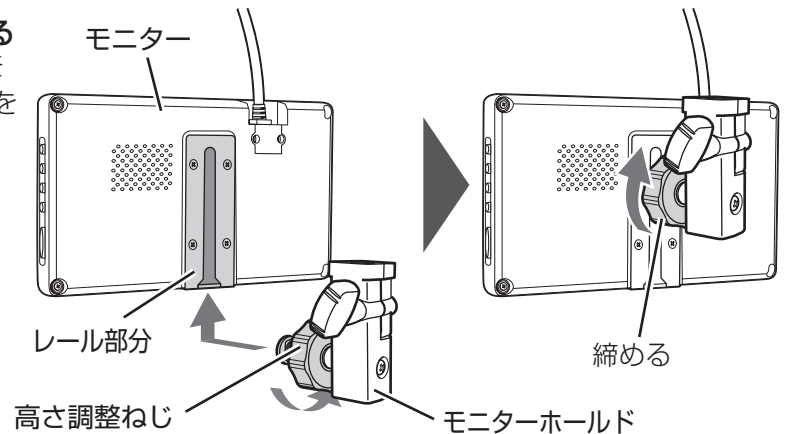
- 1 オンダッシュ用モニターブラケットの底面にある台紙を取り、ダッシュボードに取り付ける
オンダッシュ金具を取り付けるときは、ルームミラーを確認する際に妨げにならない位置に取り付けてください。
また、必ず付属のビスで固定してください。



モニターの取り付け

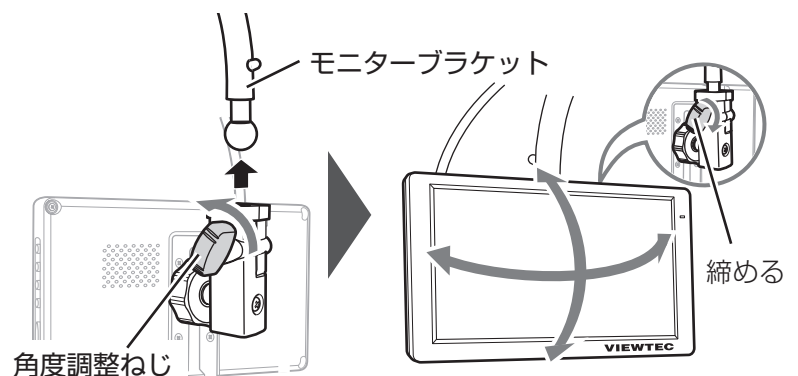
モニターブラケットの場合

- 1 モニターホールドをモニターに取り付ける
モニターホールドの高さ調整ねじをゆるめ、モニター背面のレール部分にモニターホールドをスライドさせて取り付けます。



- 2 モニターホールドをモニターブラケットに取り付ける

- 1 モニターホールドの角度調整ねじをゆるめてモニターブラケットにはめ込みます。
- 2 モニターの角度を調整します。
 - 必要であれば、高さ調整ねじでモニターの高さも調整してください。
- 3 角度調整ねじを締めて固定します。



オンダッシュ用モニターブラケットの場合

1 モニターホルドをモニターに取り付ける

- 1 モニターホルドの高さ調整ねじをゆるめ、モニター背面のレール部分にモニターホルドをスライドさせて取り付けます。
- 2 モニターの角度を調整します。
 - 必要であれば、高さ調整ねじでモニターの高さも調整してください。
- 3 角度調整ねじを締めて固定します。

